



旧昭和校舎

君が代は
千代に 八千代に
さざれ石の
巖となりて
苔のむすまで

四
日空の下
おおやまとさか
星を絶ぶる北辰
その景を理想と仰ぎ
大日本北の固めと
生立ちし
我等千余の
務め重し
五
水しき
巴港に集ひ
百船を眼下に見つ
そそり立つ臥牛の山の
姿こそ我等の抱負
百三十年の古き歴史に
学舎の
誉高し
六
芳しき
名も五稜郭
朝夕に思ふ遺烈に
たゆまざる心をきたへ
この手もて
海山に満つる宝を
我こそ
見よや此の双の腕を
商会の王者と立ちて
日の本の
築くべき
力あふる

一
大空の星の王座に
衆星を絶ぶる北辰
其の景を理想と仰ぎ
大日本北の固めと
生立ちし
我等千余の
務め重し
二
水しき
巴港に集ひ
百船を眼下に見つ
そそり立つ臥牛の山の
姿こそ我等の抱負
百三十年の古き歴史に
学舎の
誉高し
三
芳しき
名も五稜郭
朝夕に思ふ遺烈に
たゆまざる心をきたへ
この手もて
海山に満つる宝を
我こそ
見よや此の双の腕を
商会の王者と立ちて
日の本の
築くべき
力あふる

(昭和4年6月制定)

青木 存義 作詞
信時 潔 作曲

Allegretto marciale ♩ = 約112

1. おみおずきらよのきほはしこのうおうさどにうしゅうせふいねををすが
2. ぶるほくしつんつそそかりげたをつりがそぎううとのあやおまの

おすがやまことそきわたれのかたぬとふおもいみーそとちせ

しのわふれるらきせれんきよしのにまなまなびびのやこのつほとまめれおたもかし